

令和4年度 第2回 名西高等学校学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和4年10月13日(木) 午後2時から午後4時まで

2 場 所 名西高等学校 会議室

3 協 議

① 名西高校の本年度重点取組について

向井校長がパワーポイントを使って説明を行った。職員アンケートを実施し、名西高校の強みと弱みについて意見を求めると、強みとして芸術科の存在、生徒が素直で真面目、一人一人に応じたきめ細やかな授業の実施、教員集団が友好的で団結力がある、伝統があり地域とつながっているなどがあった。弱みとしては、小規模、生徒が自主性積極性に欠ける、普通科の魅力が感じられない、校舎の老朽化などが上がってきた。弱みを強みにするために団結力のある教員集団の力を結集し、生徒の主体性を育てていきたい。

普通科については、新学習指導要領の目指すところである「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」を重視し、生きて使える知識・技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養を目指す。また、グランドデザインで示す身につけさせたい資質・能力の育成のため、各教科で育成したい力を整理し、各教科のルーブリックを活用し、評価基準を生徒と共有しながら目標を明確化した授業を行い、指導と評価の一体化により授業改善に努める。

芸術科については、教育内容をよく知ってもらうために、ホームページの更新や体験入学、文化祭の中学生公開、入学説明会を実施している。

② 授業参観について

高曽根教頭が、簡単な説明をした後、各教室を巡回した。

③ 地域との連携について

高曽根教頭が、パワーポイントを用いながら説明した。名高パトロール隊再編式、石井町納涼ボランティア、神山町先進地視察、エシカル教育、「全国地域安全運動」名西高校防犯キャンペーン（書道パフォーマンス）

ス・名高パトロール隊) について紹介した。石井町総ぐるみ人権啓発研修大会コンサート及び美術書道作品展示, 青年団主催文武舞演奏参加, 高原小学校卒業記念壁画制作, 石井町ボランティアフェスティバル作品展示, 石井町内歯科医院作品展示などを実施予定として紹介した。

今後も地域に貢献できる学校を目指し, 地域との連携を図っていく。

④ 各委員からの提言等について

(ア) 机と机の間の距離が保たれている。扇風機も置いてあり換気も行っている。昼食時はどうしているのか。

(回答)

机の配置は授業中と同じで全員前に向けて黙食を続けている。教員が巡視も行っている。

(イ) 今年は生徒がタブレットに慣れ, 使いこなしているように見えた。雰囲気もいい。定時制について生徒のケアや地域連携はどうなっているのか。

(回答)

外部講師を招聘しエシカル教育について講演をしてもらっている。今年は校内の畑で藍の育成を行い, 技の館の館長に来校いただき映像も用いながら藍染めの研修を行った。また野菜も生徒が育て, 調理などについては講習を行ってもらっている。またZOOMを使って県外の大学教授による数学の講演なども実施した。

(回答)

「地元との関わり」が大切だと考えるが, 連携したいときに誰に助けを求めればいいのか分かりにくい。石井町の役場にもコーディネーターの配置を要望している。

(ウ) 地域との連携については, 阿波の昔話を美術コースの生徒が紙芝居にして石井町に贈呈した。また, 石井町総ぐるみ人権啓発研修大会では名西高校生の作品を見ていただく機会もあり, 石井町と名西高校は近い関係にあると思う。

(回答)

今後とも地域の方々にも名西高校のことをさらに知って

いただきたい。

(エ) 在学から30年。校内には芸術作品が飾られている。自分の頃より芸術科の専門性が深まっている。普通科の授業は人数が少ないためか、活気があるというよりおとなしいという印象であった。自分が経営する会社でもコミュニケーションが苦手な若者が多い。社会との関わりを養うキャリア教育などをしっかり実施していただきたい。